

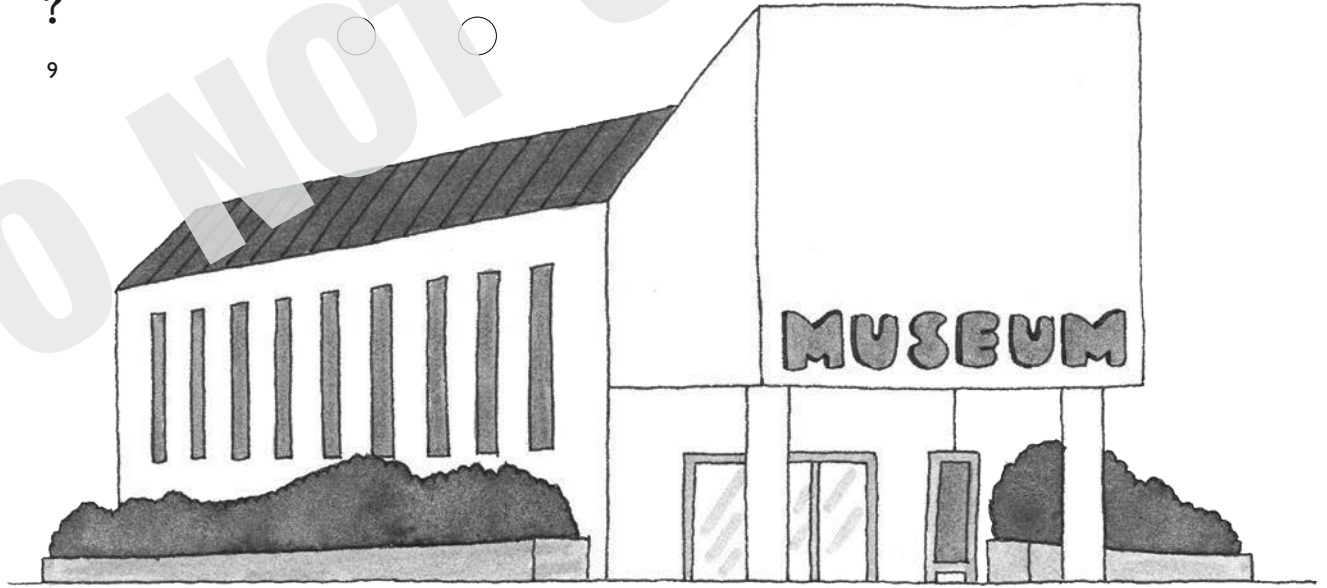
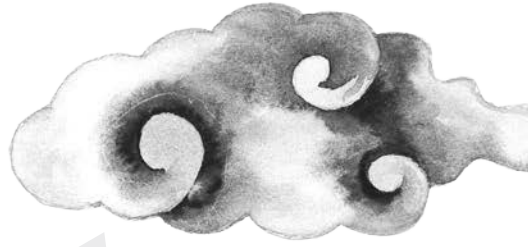
作 石崎洋司  
絵 はんだみちこ

ひみつの  
おほけ一家  
いっか



# 博多 十番 博多 十番 博多 十番





登場人物紹介 4

プロローグ お墓の霊子さん 6

第一怪 奇怪現象なんてインチキキ? 9

第二怪 悪魔がやつてきた? 41

第三怪 ここは、ゆうれい博物館? 69

第四怪 霊子さんたち、奇怪現象をひき起こす! 97

第五怪 霊子さん、博物館を救う? 127

作者あとがき 163



とまあ、ほかの家族さんたちとは、だいぶんいきがちがうんだけどね。  
家族そろってお出かけなんて、すっごくひさしぶりなもの。あたしとしては、とっ  
てもうれしい！

「しかし、無料にするなんて、この博物館、よっぽど人気がないんじゃない」  
そのとたん、入場ゲートの係員さん、目がまんまるに。

「い、いま、どこか、じいさんの声が出たような……」

係員さん、まっく顔をできよろきよろ。

すると、こんどは、があつて、しゃべりだして。

「あ、でも、こうー家庭でいられるというのは、ありがたいことじゃな」

パパがわざとらしくしゃべると、係員さんにむかって、にっこり。

「あ、ああ、あなたでしか」

係員さん、ほっと胸をなぐろし

「わたしはまた、怪奇現象が……」

え？ 怪奇現象？



「キリスト教で、イエス・キリストを産んだお母さんのことよ  
教えてくれたのはママ。」

「そのすがたを形にあらわしたのが、マリア像。教会などにかぎって、みんなが拝んだりするの。でも、これはマリア像といえるのかしら？」

ママが指さしたのは、ガラスケースのなかにおさめられた人形。  
高さは三十センチで、教会にかざるには、かなり小さいね。

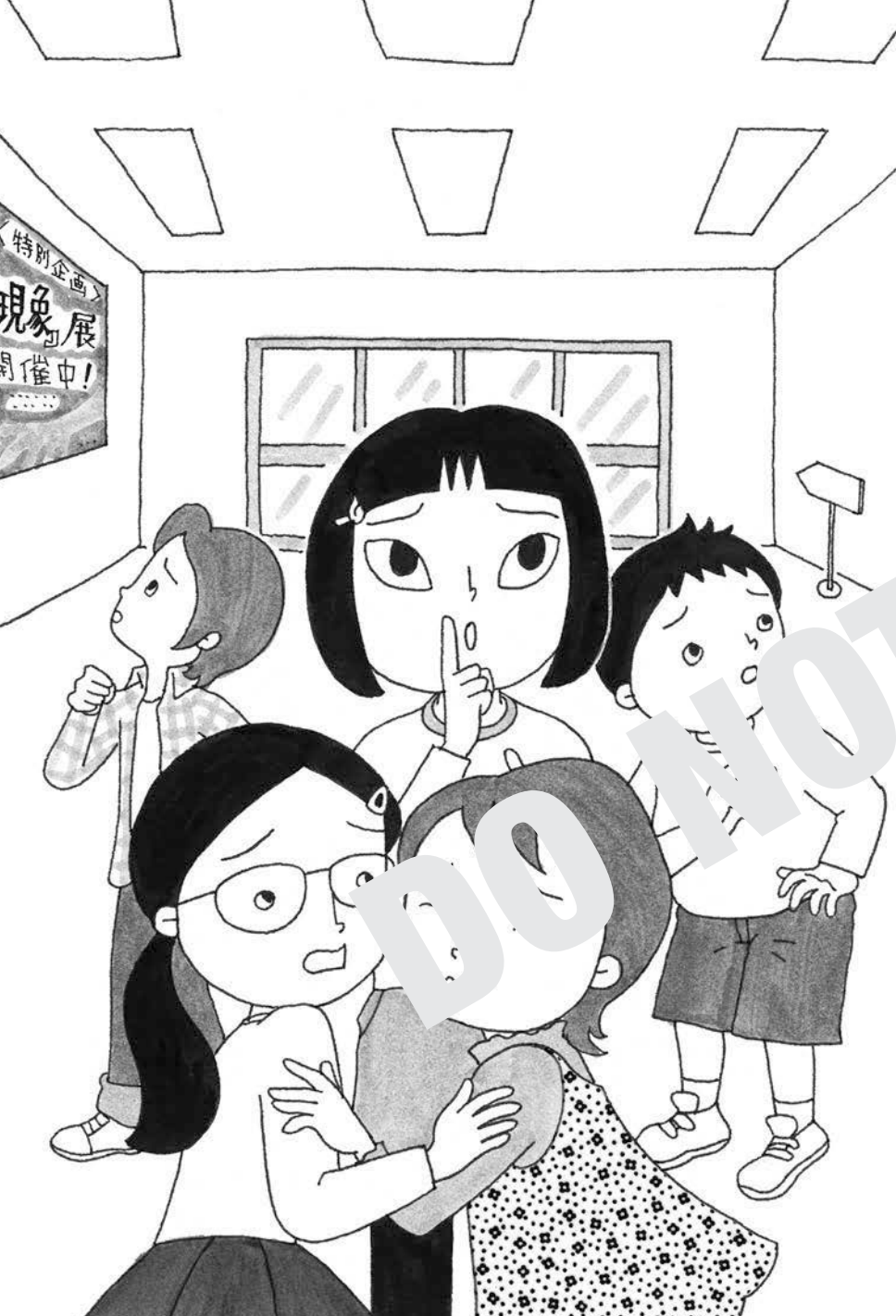
「大きさは別にいいよ。家に置いて拝む人もいるし。そうじゃなくて、ふしぎなのは、すがたよ。これ、しゅうの文の子よ。それも日本の……」

ほんとだ。着ているの、きものだよ。それに、髪は黒くて、背中までのびて、どこから見ても日本人だ。

でも、キリスト教って 国で産んだものだし、マリアも外国の人の名前だよ。

なのに、どうしてこれがマリア像

「ママも霊子も、ぶつぶついさえて、まず、ビデオの説明に耳をかたむけてみたら  
どうだい？」



ってことは、あたしたちのだれかがスイッチを入れたわけじゃない。

「警備員さんじゃない？」

でも、博物館はしーんと静まり返ったまま。

あたしたち以外に、人のいる気配はなし。

「ど、どうなってるの？」

ナナちゃんの言葉、聞かずにいる。

でも、その気持ち、わかる。うすぐらいのもこわいけど、こうやって、キラキラと

明るいの、物音ひびく。ない建物のなかっていうのも、かえってこわいもの。

「だれか、いるぞ」

海斗くんが、ぼつりとした声で言う。

「かすかだけど、声がする。その声、……うん、こっちに近づいてくる」

「ちよつと、やめてよ。それいもつと、……い！」

声をふるわせるリンちゃん。あんなに、「しっ」と、指を立てた。そして、耳を

すますと……。